



秋田県女性消防団ネットワーク会議

平成二九年度秋田県女性消防団ネットワーク会議が一月二五日(土)秋田市文化会館において、女性消防団員、消防長、消防団長など約九〇名が参加し、開催されました。

会議では、中田潤消防協会長のあいさつの後、全国操法大会に出場してなど二件の報告発表、秋田市消防団と横手市平鹿消防団の活動事例発表に続き、二つのテーマについて七班に分かれグループ討議、各班から討議内容の発表がありました。



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

報告発表 全国操法大会に出場して



大仙市女性消防隊
隊長 一色 順子

活性化広島大会に参加して



仙北市消防団
班長 西宮 三春

☆☆☆ 会議の総合司会は、大館市消防団 島山留美子班長が担当しました。(写真…一段目)

平成二九年度全国統一防火標語
火の用心 ことばを形に 習慣に

活動事例発表 行動力を備える防災教室



秋田市消防団
班長 木村 綾子

子連れ巡回



横手市平鹿消防団
部長 伊勢 睦子

グループ討議・発表(者) ◇テーマ 「女性消防団員の確保」 「団員がいらないよ、募集方法は」



一班
にかほ市消防団
副部長 須田 典子



二班
秋田市消防団
班長 松本 恵



三班
横手市平鹿消防団
団員 藤井 夏美

◇テーマ 「女性消防団員による 活動の展開」 「みんなどんな活動したら良いの」



四班
秋田市消防団
班長 木村 綾子



五班
大仙市消防団
班長 佐藤美佳子



六班
仙北市消防団
団員 辻 薫



七班
北秋田市消防団
副団長 岩本 美喜

参加者の感想

鹿角市 黒澤明子 団員

ネットワーク会議には何度か参加していますが、今年行われたグループ討議で共通する課題を発見できたり、団員同士の生の声を聞くことができ非常に良かったと感じました。グループ討議にもう少し時間が欲しかった気がします。

小坂町 木村 想 団員

今回初めて参加し、様々な活動を行っていることに驚きました。三人という少ない人員ですが、消防の知識や技術を勉強しながら、自分たちのできることを模索し活動を広げていきたいです。

大館市 佐々木由紀子 団員

操法大会に出場した大仙市女性消防隊さんのお話を聞き、私たちも今後操法大会に出場する機会があるなら出たいと思いました。

また、各地域の活動状況も聞くことができて大変参考になりました。

北秋田市 岩本美喜 副分団長

初めて参加させて頂き、地区外の方々との意見交換や活動内容などを聞き、消防人としての意識の高さに驚きと感動の時間でしたが、班長としての意見発表では、頭が真っ白になり何も伝えることができなくて、自分のふがいなさがわかりました。

男鹿市 石塚とみ子 班長

各消防団が抱えている問題は、共通する部分が多いと実感しました。参加された皆様は、いきいきと活動しており、大変刺激を受けました。今後は、各女性消防団で共通意識を持って活動していくことで、女性消防を活性化させていきたいと感じております。

潟上市 根 麻衣 団員

子どもがいると消防団の活動に参加できないと思っていたが、今回子連れ巡回やチラシ配り等子どもと一緒にできる活動があることを知り刺激を受けました。

女性としての役割を見いだし、消防団活動に取り組んでいきたい。

五城目町 伊藤 茜 団員

女性消防団としてスタートしたばかりなので、どの話も新鮮でした。特に秋田市消防団の木村さんのお話は大変勉強になりました。

今回学んだことを参考に町民の防災意識の向上を目指して活動していきたいです。

井川町 鈴木美樹子 団員

井川町女性消防団は、この春に三名で立ち上げました。まだ活動記録はなく、団員入団勧誘ということだけですが、この会に出席し、団員自ら動きアピールすることが大切だと実感し、大変参考になりました。

秋田市 渡辺有美 団員

各地域の活動や取り組みなど、今後の活動に今すぐにも生かせそうな内容の話を聞くことができました。自分ができる活動を少しづつ増やし、いろいろなことに取り組んでいきたいです。

由利本荘市 佐藤めぐみ 団員

グループ討議を通して、各地域の現状と課題を知ることができ、大変参考になりました。

これを契機として女性消防団員同士や関係各所とコミュニケーションを深め、活動の幅を広げていけるよう頑張っていきたいです。

にかほ市 佐々木恵子 班長

報告発表や活動事例の発表を聞かせて頂き、大変参考になりました。今後の活動内容を更に向上していきたいよう努力していきたいと思えます。

体験談で教えていただいた、地域の方に寄り添える消防団員を目指したいです。

大仙市 片岡由美子 団員

女性消防団の各地域の幅広い活動を聞いたり、グループ討議では、参考になること、共感すること等を話し合うことができ、今後に役立て、一つ一つ経験を重ね、女性消防団員として、尽力してまいりたいと思いました。

仙北市 辻 薫 団員

「自分たちには何ができるだろう？」消防団に入団し何度も考えしてきました。各分団の様々な活動内容を知り、グループ討議で話し合うことで、女性の視点を大切にしながら活動、話し合いができる関係性を築くことが大切だと気付くことができました。

横手市平鹿 藤井夏美 団員

団員確保の現状・提案・募集方法、また、活動発表の内容も多様であつて、女性消防団の志の高さを感じました。火災のない安心・安全な地域を目指していきたいとともに、これからも皆さんと頑張っていきたいと思いました。

横手市山内 畑しのぶ 団員

ネットワーク会議に参加して、県内の女性消防団のパワーは凄いななど。そして、各団様々な活動に取り組んでいる姿はとても刺激になったし、自分たちも頑張らなくてはいけないなど、改めて感じさせられました。

湯沢市 今 朋子 団員

所属している団以外の様々な活動を知ることができ、今後の活動を一層頑張ろうと思いました。学べたこと、感じたことを、所属する団や地域に持ち帰り、日々の活動に励みたいと思います。

第三回 全国女性団員活性化広島県大会

来年は滋賀県で開催



秋田県からの参加者：会場前

「ようこそ 平和を未来につなぐ 広島へ」みんなで減災！輝け消防女子Ⅱ」の大会テーマのもと、第二三回全国女性消防団員活性化広島大会が、一月一六日(木)、一七日(金)の二日間、広島市「広島グリーンアリーナ」を会場に全国から約三、五〇〇名が参加して開催されました。

本県からも二〇名(女性団員一名)参加しました。

大会は、開会式に引き続き、三消防団による防火防災啓発劇と五消防団から活動事例発表がありました。

なお、仙北市消防団 西宮三春班長が「災害現場での経験を活かして」と題して活動事例発表を行いました。

その後、「私の野球人生」をテーマに地元広島東洋カープの新井貴浩選手による記念講演がありました。

大会の最後は、「女性パワーと地域防災力強化」をテーマにパネルディスカッションが行われ、本県の西宮班長もパネリストとして貴重な意見を述べました。

閉会式では大会宣言が行われ、次期開催地の滋賀県に大会旗が引き継がれ、本大会も無事終了、参加者の皆さん大変お疲れ様でした。

参加団員の感想

〇常々思っていることは、女性消防の活動とは何処まで求められているのだろうかということとです。

今大会の活動事例を聞き、とても参考になりました。

西宮さんの発表は勇敢であるとともに、女性ならではの心配りと活動に対し感動しました。

〇土砂災害は災害時のみならず、その後の考え方や活動にも影響があると考えさせられました。



大会会場の様子



パネリスト西宮班長

〇実際の経験に基づいた貴重な意見を聞くことができました。

地域とのコミュニケーションの重要性が強く印象に残りました。

〇女性視点での活動発表よりも男性

と一緒に活動できることを模索している発表が多く、女性団員の活動の幅が広がっていることを感じました。

〇各県団員がそれぞれ工夫しながら、様々な取り組みがなされていきました。ここで吸収したことを団員で共有し、これからの活動に生かしていきたい。



記念講演 新井選手

〇四年前の土砂災害での活動を全国から集まった消防団員の前で発表することは想像以上に緊張しました。

が、一緒に参加した皆様から温かい声援をいただいていたので無事に思いを伝えることができたと思っています。

また、全国から集まった団員と情報交換をすることができ、充実した広島大会でした。



アトラクション 宮乃木神楽団

各地域における総合防災訓練の実施状況

能代市山本郡

開催日	平成29年5月26日 (金)
開催地	能代市
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 5月26日(金)午前9時、日本海を震源とするマグニチュード8.7の大地震が発生。能代地域の震度は7、家屋の倒壊、交通事故、火災発生。 能代市役所では、職員が来庁者を誘導し、庁舎3階への避難を開始。 津波避難場所周辺の福祉施設では、職員が利用者を介助しながら避難を開始。周辺住民も利用者の避難を援助しながら集団避難を行う。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 能代市役所庁舎での避難誘導 津波避難訓練、災害対策本部運用訓練、援助物資輸送訓練 自衛消防隊による放水訓練 避難所開設運営訓練
参加人員	760人 (15機関・団体)



鹿 角

開催日	平成29年11月5日 (日)
開催地	小坂町中央地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 震度6強クラスの地震が発生、小坂町は指定避難所を開設し、住民は避難を開始した。 自主防災組織等は自助・共助により各種災害に対応した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導訓練、搬送訓練 (簡易担架、車椅子) 情報伝達訓練、煙中体験、炊き出し訓練、消火訓練 倒壊建物救出訓練、救急訓練 (応急手当法)
参加人員	50人 (5機関・団体)



男鹿潟上南秋

開催日	平成29年11月9日 (木)
開催地	潟上市天王地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 11月9日(木)午前9時55分、秋田沖30km、震源の深さ10km、マグニチュード7.7、震度6弱の地震が発生。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線による伝達訓練、津波警報広報訓練、住民津波避難訓練、東湖小学校津波避難訓練、JR列車乗客津波避難訓練 火災防ぎょ訓練 (一斉放水)、煙ドーム体験、地震体験車体験 水難救助訓練、水防訓練 (土の積工)、林野火災消火訓練 応急救護活動訓練 (応急救護所)、炊き出し訓練
参加人員	541人 (21機関・団体)



大館北秋田

開催日	平成29年8月27日 (日)
開催地	北秋田市鷹巣一円及び北秋田市民病院
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 8月27日(日)午前8時59分、能代断層帯を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生。北秋田市鷹巣地区では震度6強の揺れを観測。 災害対策本部を設置し、情報収集、救助、救急救護及び消火等の初動体制やライフラインの復旧及び治安の維持などの災害対策を実施することとした。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> シェイクアウト訓練、災害対策本部図上訓練、大規模火災防ぎょ訓練、土砂災害救出訓練、災害医療救護訓練 避難訓練、避難所開設運営訓練 (給食訓練を含む) 防災啓発 (地震体験、煙体験)
参加人員	400人 (23機関・団体)



平成29年度秋田県総合防災訓練は9月3日(日)、秋田県、大館市、県警、消防、自衛隊など約100機関から約1,300人が参加して行われました。(秋田県総合防災課)

★大仙仙北美郷支部並びに横手市支部は、7月に発生した大雨災害対応のため、総合防災訓練は実施できませんでした。

湯沢市雄勝郡

開催日	平成29年9月6日(水)
開催地	湯沢市内全域(主会場:稲川地域)
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月6日(水)午前7時、横手盆地東縁帯南部断層を震源とする震度6弱の地震が発生。 ・午前9時、同じ震源地において、本震とされる震度6強の地震が発生。震源の深さは約15km、マグニチュード7.3と推定。 ・被害状況は不明、現在も断続的な余震が発生している。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員緊急参集訓練、災害対策本部開設運営訓練(図上訓練) ・シェイクアウト訓練(安全確保行動1-2-3) ・避難所開設運営訓練、避難訓練、火災防ぎょ訓練 ・救助訓練、合同救出活動訓練 ・検証訓練 ボランティアセンター開設運営訓練、被害認定調査訓練
参加人員	3,500人(27機関・団体)



秋 田 市

開催日	平成29年11月1日(水)
開催地	秋田市土崎地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・11月1日(水)午前9時58分、秋田県沖を震源とする強い地震が発生、秋田市では震度6強を観測した。 ・土崎地区では、停電が発生し、国道7号線では信号交差点が混乱。 ・午前10時、気象庁は秋田県沿岸に大津波警報を発表し、秋田市では直ちに津波警報サイレン11基を同時吹鳴し、防災関係機関は応急対策活動を開始した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練、津波避難訓練、津波避難場所(ビル)での避難誘導、安否確認、救助救出訓練 ・ドローンによる情報収集訓練 ・防災体験
参加人員	2,900人(39機関・団体)



住宅用火災警報器の設置状況について：総務省消防庁

総務省消防庁では、平成二九年六月時点での設置率を公表しましたので、その概要をお知らせします。

秋田県の設置率は、八一・三%で、前回(平成二八年六月時点)の設置率・八〇・〇%に比べ、一・三ポイント上昇し、都道府県の順位では一九位となっています。(前回二六位)

また、全国平均は八一・七%で、最高が福井県の九四・六%、最低は沖縄県の五七・五%。全国平均を上回っているのは一八都道府県、二九県が全国平均を下回っています。

◆ 秋田県の地域別設置率 ◆

☆地域名は、消防本部等の略称で表記

地域名	設置率	地域名	設置率
秋 田 市	84%	由 利 本 荘 市	82%
能代山本広域	92%	湖 東 地 区	89%
横 手 市	72%	大曲仙北広域	75%
大 館 市	82%	北 秋 田 市	85%
男 鹿 地 区	77%	に か ほ 市	81%
湯沢雄勝広域	70%	五 城 目 町	77%
鹿 角 広 域	84%		

由利本荘にかほ

開催日	平成29年8月26日(土)
開催地	にかほ市金浦地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・マグニチュード8.7の海溝型運動地震が発生し、5分後に大津波警報が発表された。 ・にかほ市管内国道7号線上交差点内にて、観光バス、タンクローリー、2輪車を含む複数の車両を巻き込む交通事故が発生、多数の傷病者が発生した模様。 また、付近の福祉施設に事故車両が衝突進入し被害が発生している模様。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・津波避難訓練、情報伝達訓練、防災ヘリ救助訓練 ・多数傷病者事故対策訓練、炊き出し訓練
参加人員	300人(11機関・団体)



平成二九年度消防団員指導員研修は、十一月二十五日(土)、二十六日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)で開催され、二七消防団から三五名が参加しました。

研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、防災対策・住民指導・災害情報収集伝達、消防団の活性化などの座学や訓練礼式、応急手



平成二九年度
消防団員指導員研修
秋田県消防学校

平成29年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消 防 団 名	階 級	氏 名
鹿角市消防団	副分団長	阿部 甚辰
大館市消防団	分団長	佐藤 春彦
北秋田市消防団	分団長	高橋 新光
上小阿仁村消防団	副分団長	鈴木 清光
能代市消防団	分団長	塚本 陽一
能代市消防団	班 長	高橋 剛宏
藤里町消防団	班 長	加藤 陽一
三種町消防団	副分団長	笹村 敏一
三種町消防団	副分団長	池内 清浩
八峰町消防団	分団長	木村 啓二
男鹿市消防団	班 長	伊藤 聡
男鹿市消防団	班 長	佐藤 豊
潟上市消防団	部 長	小松 偉仁
五城目町消防団	分団長	舘岡 英尚
八郎潟町消防団	部 長	北嶋 一
井川町消防団	班 長	渡部 一輝
秋田市消防団	分団長	戸井田 喜美雄
由利本荘市消防団	副分団長	池田 一治
由利本荘市消防団	分団長	渡辺 憲
由利本荘市消防団	部 長	矢野 和博
由利本荘市消防団	分団長	渡辺 栄治
由利本荘市消防団	分団長	小松 勝
にかほ市消防団	分団長	佐々木 達行
大仙市消防団	部 長	木元 省吾
仙北市消防団	分団長	福岡 克巳
美郷町消防団	副分団長	長谷川 弘美
横手市平鹿消防団	副分団長	伊勢 力
横手市雄物川消防団	分団長	高橋 良昭
横手市大森消防団	副分団長	菊地 誠治
横手市山内消防団	班 長	高橋 直人
横手市大雄消防団	副分団長	鈴木 旭
湯沢市消防団	分団長	金澤 義博
湯沢市消防団	分団長	高橋 克己
羽後町消防団	分団長	原田 千代志
東成瀬村消防団	副分団長	鈴木 良男

当・普通救命講習、消防訓練・消火活動・救助活動などの実技を熱心に受講しました。

入校式で秋田県消防協会中田潤会長は、「この研修は、消防団員の指導に当たる幹部を養成することを目的に、秋田県消防協会が日本消防協会の支援を受け、また、秋田県消防学校のご協力をいただきまして実施しているものであります。研修期間は二日間ですが、座学と実技がうまく配分されていますので、これから団員の指導に当たられる皆様には、大変有意義な研修です。我々消防団を取り巻く環境は、団員の減少のほか、高齢化やサラリーマン化

の進行などで、地域消防力の低下が懸念されるところであります。一方では、記録的な大雨など自然災害の多発や災害の複雑化、多様化などで、消防の役割は益々重要となり、その分、県民の期待は大きくなってまいります。

この研修を受講される皆様は、消防団員としての経験も豊富な方々であります。厳しい状況下にある消防団ではありますが、皆様の力強いリーダーシップの発揮によりまして、消防に対する住民の期待に応えていただきたいと思います。

折角の機会でもありますので、全県各地域から参加された仲間との交



流を深められ、実り多い研修になりますように。」とあいさつしました。



『平成30年出初め式(観閲)』の開催日時等

平成29年11月22日現在

消 防 団	日 時	場 所	
鹿 角 市	4日 11:00～	コモッセ正面玄関前	
小 坂 町	4日 11:20～	康楽館前	
大 館 市	7日 9:00～	大町ハチ公通り	
北 秋 田 市	4日 9:05～	北秋田市ふれあいプラザ	
上小阿仁村	4日 10:30～	健康増進トレーニングセンター	
能代市	(能代)	5日 9:15～	畠町通り
	(二ツ井)	5日 8:20～	北都銀行二ツ井支店前
藤 里 町	4日 9:45～	藤里町役場前	
三 種 町	4日 9:30～	琴丘総合体育館駐車場	
八 峰 町	5日 9:30～	秋田銀行八森支店前	
男 鹿 市	6日 13:00～	秋田銀行男鹿支店前	
潟 上 市	4日 13:30～	天王総合体育館 (式典のみ)	
五 城 目 町	7日 9:00～	朝市駐車場	
八 郎 潟 町	4日 13:30～	八郎潟町役場前	
井 川 町	4日 10:00～	農村環境改善センター前	
大 潟 村	6日 10:00～	サンルーラル大潟 (式典のみ)	
秋 田 市	6日 10:00～	秋田市消防本部前	
由利本荘市	5日 9:40～	由利本荘市役所前	
に か ほ 市	5日 13:30～	金浦公民館 (式典のみ)	
大 仙 市	5日 13:00～	大曲市民会館第2駐車場	
仙 北 市	6日 13:00～	仙北市民会館駐車場	
美 郷 町	4日 14:30～	総合体育館リリオス前駐車場	
横手市横手	6日 9:30～	横手体育館前駐車場	
横手市増田	4日 13:10～	増田体育館駐車場	
横手市平鹿	4日 13:00～	平鹿生涯学習センター前	
横手市雄物川	5日 13:50～	雄物川体育館	
横手市大森	7日 9:20～	大森庁舎前	
横手市十文字	5日 13:00～	十文字幸福会館前	
横手市山内	5日 9:10～	山内体育館前	
横手市大雄	5日 10:15～	大雄庁舎前	
湯 沢 市	5日 15:40～	湯沢文化会館正面玄関東側付近	
羽 後 町	5日 13:30～	総合体育館	
東 成 瀬 村	4日 14:00～	中学校体育館	

「大館市消防団応援の店新たに七店」
地元のお店が消防団を応援します

去る一〇月三十一日(火)に市役所市長室において「大館市消防団応援の店表示証交付式」が行われ、新たに加わる協賛店の代表者に福原淳嗣市長から表示証が手渡されました。

表示証には、大館市消防本部マスコットキャラクター「ハッチ君」が印刷され、応援の店に掲示されています。大館市消防団応援の店は、地域ぐるみで消防団員を応援し、消防団員の満足度向上を図ることによって、新規団員の確保と地域の活性化に繋げようと、平成二十七年二月に協賛店五社でスタートしたもので、新

たに七店が加わり、合計一九店になりました。

今回加わったのは、居酒屋や書店、美容店、菓子店などで、店舗により異なりますが団員やその家族、同伴者を対象として、サービスは飲食メニューの提供や割引など多様です。

大館市以外の消防団員も団員証明書があれば、サービスを受けることができる店舗も多くありますので、是非ご利用ください。

今後も応援の店を増やし、地域防災の要である消防団をまち全体で応援する体制の充実を図っていきます。

詳しくは、大館市消防団HPで!

(情報提供)大館市消防本部



表示証交付式



応援の店表示証

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

自治体消防七〇周年事業

「防火標語募集」について

鹿角支部では自治体消防七〇周年を記念し、鹿角市・小坂町の小学生を対象とした防火標語の募集を実施しました。

この事業は四年前の消防団一二〇周年・自治体消防六五周年の時にも実施しており、今回が二回目となります。

募集については、学校関係者から快諾をいただき、約一ヶ月の募集期間を経て、鹿角市から二二九点、小坂町から八七点の応募がありました。

選考委員には正副団長のほか、学識経験者として教育委員会学事指導管理監から協力いただき、一次選考、二次選考と厳正なる選考の結果、最優秀作品各二点、優秀作品各三点を選出しました。

◇鹿角市最優秀作品
「小さい『火』 油断すると、
大きな『火』」
◇小坂町最優秀作品
「一つの火すべてをうぼう
こわいもの」

最優秀、優秀作品は、消防出初め式での表彰、また、最優秀防火標語は年始めに全戸配布している火の用心のお札に掲載し、一年間家庭内の目

の届きやすい場所に掲示をお願いすることで、火災予防啓発が期待されます。



前回表彰式の様子

鹿角支部では防火標語の募集により、小学生から火災予防に対する知識を持ってもらい、また、標語を目にした圏域住民の防火思想の発展、普及に繋がることも期待しています。今後も、継続していかなければならない事業と捉えています。



全戸配布のお札

(情報提供 鹿角支部)

自治体消防制度七〇周年 記念式典の実施

自治体消防制度七〇周年を記念して、消防関係者を始め国民がこぞつて我が国における消防の発展を回顧するとともに、国民の安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識し、更なる消防防災体制の充実強化を図るため、次のとおり記念式典が実施されます。

〔日時〕平成三〇年三月七日(水)

一一時～

※一三時、自治体消防活性化大会(仮称)

〔会場〕国技館(東京都墨田区)

〔主催〕総務省消防庁

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建物	12	153	16	173	191	- 4	-20
林野	0	19	0	32	32	0	-13
車輛	0	27	2	29	32	- 2	- 2
その他	0	47	2	55	56	- 2	- 8
合計	12	246	20	289	311	-8	-43
死者数	5	23	3	20	22	2	3
負傷者数	1	64	2	50	54	- 1	14

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕力ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp